

# 市の財政状況

平成18年度決算と19年度上半期の収支状況  
財政担当・内線 236  
水道局経営課 ☎7184-0114

市の財政がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や国・県からの支出金などが、どのように使われているかを知っていただくため、市では財政状況の公表を行っています。今回は、平成18(2006)年度決算と平成19(2007)年度上半期の収支状況の概要をお知らせします。また、平成18年度決算をわかりやすく説明した「我孫子の家計簿」は今回の決算内容とあわせて市ホームページに掲載しています。

## 平成18年度普通会計決算

### 普通会計決算とは

特別会計の3会計を合算したものです。平成18年度普通会計決算は、歳入313億7960万円、歳出300億5623万円となり、歳入から歳出を差し引いた13億927万円(2.5%)の減額となりました。地方譲与税は、国の三位一体の改革における国庫補助負担金の削減に伴う税源移譲として、所得譲与税(暫定措置)が増額されたことにより、41.9%の増となりました。一方、地方交付税は、地方交

### 歳入(収入)

2337万円は平成19年度へ繰り越しました。

▼表3 平成18年度普通会計歳出(支出)性質別決算

区分	支出済額	構成比	対前年度比
經常的経費	250億5027万円	83.3%	-0.7%
① (小計)	250億5027万円	83.3%	-0.7%
② 積立金	1億1001万円	0.4%	-59.6%
③ 投資・出資・貸付金(經常的なものを除く)	5907万円	0.2%	-32.9%
④ 繰出金(經常的なものを除く)	7億4727万円	2.5%	-26.1%
投資的経費	40億8961万円	13.6%	3.1%
⑤ (小計)	40億8961万円	13.6%	3.1%
①②③④⑤の合計	300億5623万円	100.0%	-0.5%

### 【用語の解説】

- ※經常的経費…毎年持続して固定的に支出される経費。
- ※義務的経費…支出が義務づけられた硬直性の強い経費。
- ※人件費…市長や議員、一般職などの人件費と委員報酬などの経費。
- ※扶助費…児童手当、児童扶養手当、生活保護費など社会保障制度一環として法令等に基づき支出する経費。
- ※公債費…市が借り入れた市債の返済に伴う元金・利子の経費。
- ※物件費…消耗品や光熱水費などの需用費や臨時職員賃金、委託料、使用料などの経費。
- ※維持補修費…公共施設などを保全し維持するための経費。
- ※補助費等…報償費、公課費、負担金と補助金、補償補てん金、利子などの経費。
- ※積立金…基金への積み立てを行う経費。
- ※投資・出資・貸付金…特定法人などに対する金銭の提供や資金の貸し付けなどの経費。
- ※繰出金…特別会計や定額運用基金に対して支出する経費。
- ※投資的経費…支出の効果が資本形成に向けられる経費の総称。
- ※普通建設事業費…道路や公園、公共施設の新増設などに要する経費。

▼表4 財政指標の推移と比較(平成18年度)

区分	我孫子市	東葛6市平均
財政力指数	0.936	0.913
經常収支比率	96.3%	91.3%
実質公債費比率	9.0%	13.8%

### 【用語の解説】

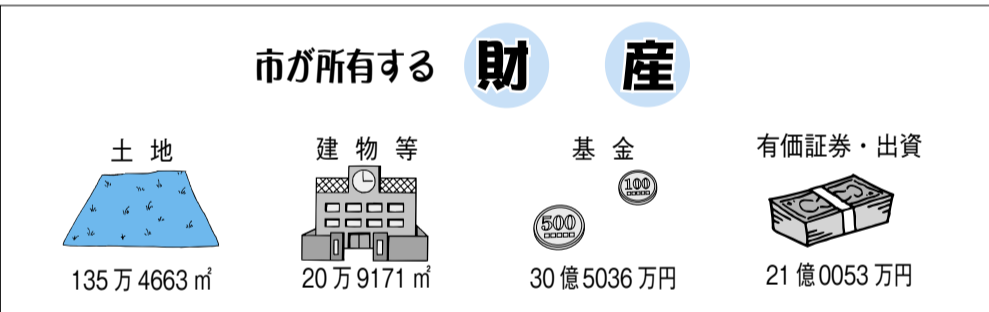
- ※財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指数。1に近いほど財源に余裕があり、1を超えると国から普通交付税が交付されない。
- ※經常収支比率…財政構造の弾力性を判断する比率。100%に近いほど財政の弾力性はなくなる。
- ※実質公債費比率…借入金の返済額が収入に占める割合。一般会計、特別会計、公営企業などすべての借入金を含む。18%を超えると地方債発行に県の許可が必要になる。

▼表1 平成18年度普通会計歳入(収入)決算

区分	内容	収入済額	構成比
市税	市の歳入の中心で、市民税、固定資産税、軽自動車税などがあります	171億7087万円	54.7%
地方譲与税	本来市税となる税源をいったん国税として徴収し、市に譲与されます	11億6059万円	3.7%
利子割交付金	預金などの利子所得の課税に対して県から交付されます	7141万円	0.2%
地方消費税交付金	消費税の1%分が県税として徴収され、その2分の1が交付されます	10億1848万円	3.2%
地方特例交付金	恒久的減税による市税の減収額の一部を補てんと児童手当拡充のために交付されます	5億7049万円	1.8%
自動車取得税交付金	県に納付された自動車取得税の一定割合が県から交付されます	2億7220万円	0.9%
配当割・株式等譲渡所得割交付金	県から株などの配当や譲渡課税に対して交付される交付金です	1億7455万円	0.6%
その他交付金	ゴルフ場利用税、交通安全対策の各交付金の合計です	6014万円	0.2%
地方交付税	地方自治体の財源として、国が使い方を特定せずに交付します	9億3249万円	3.0%
分担金・負担金	特定の事業を行うことにより利益を受ける団体や個人から徴収します	2億6420万円	0.8%
使用料・手数料	市の施設利用や行政サービスに対する料金として徴収します	7億8736万円	2.5%
国・県支出金	国や県から特定の事業を実施するために交付されます	33億5050万円	10.7%
繰入金	弾力的な資金運用を行うため、基金や特別会計から繰り入れます	7億2503万円	2.3%
繰越金	前年度決算で生じた剰余金のうち、平成18年度の歳入になるものです	19億5337万円	6.2%
市債	市の事業や財政運営のために国や金融機関等から借り入れる資金です	24億7420万円	7.9%
その他	財産収入、寄付金、諸収入の合計です	3億9372万円	1.3%
合計		313億7960万円	100.0%

▼表2 平成18年度普通会計歳出(支出)目的別決算

区分	内容	支出済額	構成比
議会費	議会活動に要する経費で、議員の報酬や議会事務に使われます	3億5760万円	1.2%
総務費	市の管理的経費と、近隣センター、交通対策など他に区分できない経費です	53億8829万円	17.9%
民生費	高齢者や障害者、児童などの社会福祉に使われます	92億0940万円	30.6%
衛生費	病気予防のための各種検診、環境対策、ごみ処理などに使われます	27億3795万円	9.1%
労働費	普通会計決算上だけの分類で、失業対策や雇用促進などに使われます	2391万円	0.1%
農林水産業費	地産地消の推進など農業振興や農業委員会の運営に使われます	2億8741万円	1.0%
商工費	商業や工業の振興、観光事業、消費生活の改善などに使われます	2億8104万円	0.9%
土木費	道路や公園の整備、排水対策など快適なまちづくりのために使われます	37億9805万円	12.6%
消防費	防火や救急業務など市民生活の安全を守るために使われます	14億0860万円	4.7%
教育費	小・中学校の運営や社会教育事業、図書館、市民体育館などに使われます	39億8988万円	13.3%
公債費	市債として借りた資金に利子を付けて返済するものです	25億7410万円	8.6%
合計		300億5623万円	100.0%



**◎性質別歳出の状況**  
歳出を性質別に見ると、人件費(構成比30.2%)、物件費(18.2%)、普通建設事業費(13.6%)の順となっています。扶助費(構成比12.6%)は、児童手当の支給拡大による対象者の増加などにより増額となりました。經常的繰出金は、昨年を引き続き、国民健康保険事業、老人保健や介護保険特別会計に対する繰出金が大幅に増額となりました。また、普通建設事業費は我孫子南近隣センター、ふれあ

**◎目的別歳出の状況**  
歳出を目的別に見ると、民生費(構成比30.6%)、総務費(17.9%)、教育費(13.3%)の順となっています。平成18年度普通会計歳出(支出)目的別決算は表2のとおりです。  
**◎市債現在高と債務負担行為未払い残高**  
平成18年度普通会計歳出(支出)性質別決算は表3のとおりです。

▼表5 平成18年度特別会計決算

区分	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	107億1205万円	104億2452万円
老人保健事業	76億6993万円	76億6724万円
介護保険事業	48億9317万円	47億6379万円
公共下水道事業	32億6074万円	29億0347万円
土地区画整理事業	5344万円	1872万円

## 平成18年度特別会計決算

**財政指標の推移と比較**  
普通会計決算をもとに、財政状況を分析する各種指標を算出しています。財政指標の推移と比較は表4のとおりです。

平成19年度上半期の収支状況

一般会計

平成19年度の一般会計当初予算は、314億5200万円ですが、9月の市議会にて1億600万円の増額補正を行い、315億5800万円になりました。

特別会計

補正予算の主な内容は、前年度からの繰越金が当初見込み額を超えたため4億3351万円を増額しました。普通交付税は当初見込み額を上回ったため、1億9435万円を増額しました。

また、財政調整基金繰入金7億1500万円のうち3億6000万円を繰戻しました。

▼表6 平成19年度上半期一般会計収支状況

Table with columns for '歳入(収入)' and '歳出(支出)', each with sub-columns for '区分', '予算額', and '収入済額' or '支出済額'. Includes a total row at the bottom.

▼表8 平成19年度上半期水道事業会計収支状況

Table with columns for '区分', '予算額', and '執行済額'. Includes a total row at the bottom.

※予算額と執行済額は消費税込みの金額です。

▼表7 平成19年度上半期特別会計収支状況

Table with columns for '区分', '予算額', '収入済額', and '支出済額'. Includes a total row at the bottom.

水道事業会計

平成19年9月末現在の給水人口は12万8215人で、水道普及率は94.7%です。給水量667万6799m³のうち料金収入のあった水量は644万6264m³で、その割合は96.5%です。

平和の尊さを伝えたい

我孫子市は、8月5日から7日まで、市内中学校の代表6人を広島市に派遣しました。広島での体験を、12月1日けやきプラザホールで発表しました。また、派遣後の感想の概要は次の通りです。

方波良穂さん(我孫子中学校)



私は、我孫子市の代表として広島へ行き、鳥へ行き、たくさんの方と交流することができました。「戦争の恐ろしさ」「平和の大切さ」を学ぶことができました。平和祈念式典に出席し、本川小学校へいった後、被爆者の山崎さんにいろいろなお話をさせていただきました。

山崎さんが最後にお話して下さったことが大変印象に残っています。

それは、「友達を大切に」ということです。友達を大切にすれば、友達も自分のことを大切にしてくれる。「自分も大切にされている」と思うことが、山崎さんを救ってくれたのではないかと思います。

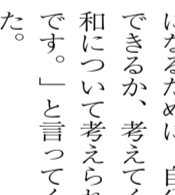
今身近で起こっている「いじめ」「差別」などをなくしていくことが平和につながる。自分ができる第一歩だと私は考えます。どんな些細なことでも思いやりを忘れず、相手の気持ちになつて考えれば、少しずつ世の中が平和になっていくと思います。

遠藤雄平さん(湖北中学校)



1945年8月6日、8時15分、広島に原爆が投下されました。それは、一瞬にして20数万人の命を、未来を消し去りました。

中山雅子さん(久米中学校)

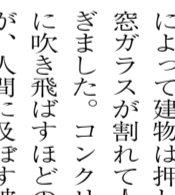


私は、我孫子市の派遣中学生として、平和祈念式典の参加などいろいろな体験をしました。

この体験が一番に残ったのは、山崎さんのお話でした。被爆証言者の山崎さんの話を聞いて、原爆が落とされた戦争が始まった理由は、食料がたりなくなったからだということがあつたといわれました。でも、それはおかしいと私は思う。人は、食べていかないと生きてはいけません。だから食料は大事です。でも、人の命をたくさん奪ってしまったらどうすればいいのかわかりません。

「10年後、20年後が平和だと錯覚していませんか。」と。そのとき、僕は、確かに平和は保証されていないと思いましたが、それと同時に、これから平和は自分たちで作っていくのだと思いました。

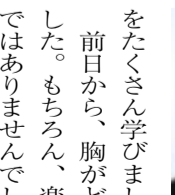
内形優樹さん(布佐中学校)



私は、市の代表として広島に行かせていただきました。広島に着いたときは、「とても緑豊かできれいな街だな」と思いませんでした。しかし、その後、二泊三日で広島のことをたくさん学び、本当に62年前、広島に原爆が投下されたのだと改めて

繰り返したくない。そのために、この悲劇をたくさんの人に伝え、この悲劇をまた起こさないようにと、私は思う。

山口大雅さん(白山中学校)



僕は、今回の広島市中学生派遣で、とても大きなことをたくさん学びました。前日から、胸がどきどきしました。もちろん、楽しい気持ちではありませんでした。代表という責任もあつたし、何より、「原爆」への興味があつたせいで、そんな気持ちにはなれませんでした。

被爆体験者の山崎さんから、様々な話をお聞きしながら、そのときの状況を話してくださいました。自分が今座っている地面が、一瞬で焦土になったのはとても考えがたかったです。そして、最後に僕達に質問されました。

「10年後、20年後が平和だと錯覚していませんか。」と。そのとき、僕は、確かに平和は保証されていないと思いましたが、それと同時に、これから平和は自分たちで作っていくのだと思いました。

企画調整担当・内線211

僕は、三日間の中で学んだことは、絶対忘れないし、忘れられないと思います。そして、平和を作り上げていくためにこのことを、全校や市内の人々に伝えていきたいと思っています。